

会議名 平成23年度第2回ニセコ町環境審議会

開催日 平成23年 8月 8日	会議時間	開会 PM 2:00 閉会 PM 4:15
会議場所 ニセコ町役場第2会議室	記録者 企画環境課環境エネルギー係	
出席者 水上武史、吉川洋子、吉原京子、鈴木延夫、福井祥行、松田保、宮田文子、佐々木智子		
事務局 茶谷課長、樋口係長、コミュニティー研究所梅田氏		
欠席者 泉洋一、松田勝美		

会議日程

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 審議事項
(1) 環境基本計画の達成状況について
(2) アンケート調査について
- 4 その他
- 5 閉会

会議内容

主な内容

- ・環境基本計画の評価について、進行管理の項目ごとの資料により説明。
→全体的に計画はわかりにくい。重点をはっきりさせて、優先順序をはっきりさせるとわかりやすい。この10年で良かったところ悪かったところをもっとわかりやすくすべき。
- ・アンケート調査の質問事項の骨子について説明。
→文言が難しい。もっとわかりやすくすべき。
- ・議事に入る前に、評価が行われていなかった理由について委員から質問があった。
- ・アンケート内容、取り組むべき優先順序について、再度話し合いを行うこととなった。

意見の詳細

○環境基本計画の評価について

(町の環境に対する姿勢について)

- ・環境は生き物であり大変重要であるのに、前任の委員などに話を聞いても、町はこの10年間何もしていない。評価作業が行われなかったのであれば、納得のいく回答が欲しい。

それが無ければまた同じことの繰り返しになる。

・役場の担当が変わると話が通じなくなったり、方向性が変わったりする。それを避けるためにはどのようにするつもりなのか回答が欲しい。

→反省するべき点が多いと認識している。次期計画ではそのようにならないように前向きに取り組んでいきたい。

- ・環境に関する取組が進んでいないのは、役場だけが悪いのではなく、町民も悪い。
- ・町はゴミの分別・有料化、より効果の高い処分場の建設などよくやっている。
- ・環境に関する条例の制定など、近隣町村に比べてもよく取り組んでいる。
- ・家畜の糞尿による害も無くなった。ゴミの分別も進んだ。よくなったところをもっとアピールすべき。情報共有が足りないのでは。
- ・環境はお金がかかるので、進めていくのにはお金がかかるのである種限界はあるのでは。
- ・環境に関する取り組みなど、町民に対して情報が発信されていないのでは。情報収集できる場所も欲しい。広報誌はお年寄りには字が小さかったり、町民講座も参加しないとわからない。

（環境基本計画について）

- ・計画の内容が抽象的で評価が難しい。重点をはっきりさせて、それに優先順序をつけると計画もわかりやすくなるし、評価もしやすい。
- ・計画の内容は抽象的な内容から非常に細かいところまで書き込んである。計画の実現性に無理があったのでは。
- ・計画の内容について、良くなったところ、悪くなったところなどわかりにくい。

（水環境について）

- ・この10年で川にカジカが増えた。排水への取組、河川改修、川はきれいになっている。投棄されたゴミも減った。
- ・イトウもよいが、環境教育には水生昆虫の観察などが向いている。見るより体験することが重要で、子供向けに別の町でやったことがあるが効果も高い。
- ・カシュンベツ川でのイトウの取り組みは場所がよくない。雨で濁りやすいし、湧水も無い場所であり向いていない。
- ・ゲリラ豪雨により川の増水するスピードが速くなった。尻別川流域でも注意喚起すべき。

（ゴミについて）

- ・ゴミの分別はマンネリ化してきている。分別できない人も増えてきている。
- ・ゴミの分別を始めた頃は職員が指導に地区に来てくれた。またそのような指導をしては。
- ・空き缶のリングプル、ペットボトルのキャップ、廃油など再利用できるものを集めて何かできるのでは。

（その他）

- ・手掘りの水路など、町には素晴らしい環境がある。審議会で見たり調べたりしては。
 - ・農地水環境の事業が、地区によって使い道がばらばらである。
 - ・審議会の役割は、町の環境以外の部局に対して意見を述べることができるのか。
- 可能。

- ・優先順序の高い問題として、市街地区の水道水源地の周辺が売りに出ている。町として買取を前提に対応すべきでは。
- 水道水源保護条例での規制を予定。値段が合えば買収したいと考えている。

○アンケートについて

- ・農業について質問内容が浅いのではないか。農業の問題は、食の安全、健康に関する重要な問題。後継者不足などもあるが、前向きに捉えて、食料、エネルギーの自給率を高めていくべき。地場産の農産物を使わない理由なども探って欲しい。
- ・行政用語が多く、難しい言葉が多すぎる。高齢者や知識の無い人にもわかりやすい文言とすべき。小学生の高学年がわかる文言にしないとイケない。
- ・難しい文言については注釈を入れたらよいのでは。
- ・イトウについて取り上げても、一般の方にとって具体的にイメージできないのでは。
- ・尋ね方で印象が変わるので慎重に検討すべき。
- ・去年の総合計画のアンケートはわかりにくかった。